

討論会・シンポジウムの開催

特定のテーマまたは大きなテーマを設定し、荷電膜を中心とした膜技術について多様な観点から探求する討論会やシンポジウムを開いてきた。平成20年以降では以下のとおり。

1. 「環境の未来を拓く膜とイオン — 海水、排水、超純水」

平成20年11月14日(金) 東京工業大学・百年記念館

(日本海水学会誌63巻2号に掲載)

講演:

- (1) 「荷電膜の基礎と展望」 (東工大) 谷岡明彦
- (2) 「電子線グラフト重合法による製塩用イオン交換膜の作製」 (千葉大) 斉藤恭一
- (3) 「イオン交換不織布を利用する電気再生式脱イオン装置の排水中有価物回収への応用」 (荏原製作所) 中川創太
- (4) 「EDI システムの高効率化」 (元東大生研) 吉田章一郎
- (5) 「逆浸透法海水淡水化」 (造水促進センター) 後藤藤太郎
- (6) 「MF, UF を用いた海水の前処理技術」 (三菱重工) 永井正彦

2. 「持続可能社会における海水資源としてのリチウムの分離」

「これからの荷電膜を展望する」

日時: 平成23年11月24日(木) 10時30分~17時30分

会場: 東京工業大学・大岡山キャンパス 百年記念館4階フェライト会議室

【セッション1】10:30~14:15 (途中昼食休憩45分)

1. 「海水溶存資源の回収と有効利用の動向」 東京農工大学・滝山博志
2. 「リチウム資源開発の現状(仮題)」 石油天然ガス・金属鉱物資源機構・阿部幸紀
3. 「リチウム資源の活用ーリチウム電池(仮題)」 日産自動車・秦野正治

【セッション2】14:15~17:30

1. 「逆電気透析の原理と現状」 山口大学・比嘉 充
2. 「製塩用次世代イオン交換膜の研究開発」 塩事業センター海水総研・吉川直人
3. 「イオン液体含有膜の分離特性とその可能性」 同志社大学・松本道明

懇親会 17:45~ 東工大百年記念館5階レストラン